

静岡県警から太陽光発電施設の金属盗難防止に 関する協力依頼書を受領

～ 太陽光パネル設置事業者に盗難防止装置の設置を依頼していくことを確認 ～

日本損害保険協会中部支部静岡損保会（会長：東 秀明・東京海上日動火災保険株式会社、理事静岡支店長）では、静岡中央警察署にて「太陽光発電施設の金属盗難防止に関する協力依頼式」を開催しました。

日時：2024年9月30日（月） 14：30～14：50

場所：静岡中央警察署 生活安全部長室

近年、再生可能エネルギーの電力源として太陽光発電の普及が進む中、金属価格の高騰を背景として、太陽光発電施設の送電ケーブルの盗難被害が増加しています。太陽光発電施設は人気の少ない場所に設置されることが多いことから、狙われやすくなっているようです。

静岡県警から、静岡損保会に対して、被保険者である太陽光発電事業者に対し、防犯チラシ等の配付による注意喚起のほか、同種事案が連続発生した場合等における迅速な情報伝達の依頼があり、協力することといたしました。

協力依頼式では、静岡県警水嶋春彦生活安全部長から、東静岡損保会長に対して協力依頼書の授与があり、「太陽光発電施設の送電ケーブルの盗難被害は昨年から2倍になっている。太陽光パネル設置事業者への注意喚起をお願いしたい」との依頼がありました。静岡損保会では、太陽光パネル設置事業者に盗難防止装置の設置を依頼していくこととしています。

当支部では、今後も、行政および関係団体と連携し、安全・安心に暮らせる街づくりに資する取り組みを進めてまいります。



協力依頼書を受け取る東損保会長(右)



水嶋生活安全部長(左)と東損保会長(中央)